

ベナン月報(2017年8月)

主な出来事

【内政】

- 2日, 閣議において, 政府はソグロ・コトヌ市長を1999年1月15日発布の法律55条で定める重大な違法行為があったとして, 市長職から罷免する旨決定した。

【外政】

- 15日, ベナン国防省最高司令官は, ブロウクシエフ・ドイツ連邦国防省政務官と会談し, テロリズムと海賊対策分野において二国間の関係強化について協議した。

【経済】

- 8日, ボヌ市において, 60キロワットの太陽光発電施設を備えたアグロビジネスセンターの開所式が行われた。日本政府, UNDP 及びベナン政府の協力関係によるもので, 19か月の工事を経てアデイド地区に建設された。
- 2017年第4四半期の国際収支統計によると, 2015年のベナンの海外への綿花輸出の総額は, 161.61億 FCFA にのぼり, その内中国への輸出が78.8%を占めることが分かった。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, L'économiste 紙, La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 1日, コトヌのエトワール・ルージュ広場において, 57年目を迎えるベナン独立記念式典が執り行われた。また, ベナン各地で独立記念セレモニーが執り行われた。(2日, La Nation 紙)
- ・ 2日, 閣議において, 政府はソグロ・コトヌ市長を1999年1月15日発布の法律55条で定める重大な違法行為があったとして, 市長職から罷免する旨決定した。同条では, 公金の私的使用, 公金の貸付, 公的文書の改ざんや国有財産の不正売却・譲渡等挙げられている。(3日, La Nation 紙)
- ・ 2日, 閣議において, これまで検討されてきた10歳から始めていた公立での英語教育を5歳(小1)から開始するとの方針を, 新年度が始まる今秋から, 全国36学区216校において実験的に導入する旨決定した。(16日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 4日, サバルにおいて, ヘホメ(M. Hervy HEHOMEY)インフラ・運輸大臣はダッサーサバルージュグ間255.7Km に渡る道路修復工事の起工式を行った。総工費約1,612億 FCFA, 工期36か月の計画で, ブルキナファソ系企業の Ebomaf 社により行われる。(7日, La Nation 紙)
- ・ 8日, ベナン北西部アタコラ県, ドンガ県の国民に対して世界エイズ・結核・マラリア対策基金国家マラリア対策プログラムの一環で蚊帳878,550張が供与された。(9日, La Nation 紙)

- ・ 8日、ベナン北東部アリボリ県、ボルグ県の国民に対し、世界エイズ・結核・マラリア対策基金国家マラリア対策プログラムの一環で蚊帳1,386,050張が供与された。(10日、La Nation 紙)

【外政】

- ・ 14日、アベノンシ(M. Aurélian AGBENONCI)外務・協力大臣はンレバダ(M. Firmin Ngrebada)中央アフリカ共和国大統領府官房長より、トゥアデラ(M. Faustin Archange Touadera)大統領の書簡を受け取った。(16日、La Nation 紙)
- ・ 15日、ベナン国防省最高司令官は、ブロウクシエプ・ドイツ連邦国防省政務官と会談し、テロリズムと海賊対策分野において二国間の関係強化について協議した。(16日、La Nation 紙)
- ・ 23日、ウンベジ(M. Adrien Houngbédji)国民議会議長は、19日パリで亡くなったディアロ(M. Salifou DIALLO)ブルキナファソ国民議会議長の葬式に参加するため、国民議会議員3名を引き連れワガドゥグを訪問した。(24日、La Nation 紙)
- ・ 25日、マプトで開催されたTICADV閣僚会合のマージンでアベノンシ(M. Aurélian AGBENONCI)外務・協力大臣は河野外務大臣と会談を行った。タロン大統領の訪日や「政府行動計画(PAG)」への支援など二国間協力について話し合った。(28日、L'Événement Précis 紙)

【治安】

- ・ 11日夜中、ナチチングにおいて、象牙14本計24Kgの密輸の疑いで2人が逮捕された。(14日、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 28日、チャウルーチャチュ間で、ニジェール籍のバス一台と乗用車一台を犯人6人が襲撃し、現金41.1万FCFAと被害者の金品を強奪した。1人が怪我により病院に運ばれた。チャウル警察によると、7.62口径の銃弾2発の薬莖が見つかっており、戦争で使われるものであるとのことであった。(30日、La Nation 紙)

【経済】

- ・ 1日、ルワンダエアーは、コトヌへ拠点を設置し、同社の2機によってカメルーンのドゥアラ、コンゴ(民)のブラザビル、ガボンのリーブルビル及びコートジボワールのアビジャン行きの便がそれぞれ就航することを発表した。同社は将来的にロンドンやニューヨークの長距離便の就航も視野に入れている。(2日、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 2日、コトヌ市近郊のセメ・ポジ市にある中国・ベナン農業技術試験センターにおいて、農業技術研修が行われた。リラル県など周辺県の生産者及び関係者約100人の農業関係者に対し、トウモロコシ生産、野菜栽培及び家禽使用に関する中国の技術移転が目的である。(3日、La Nation 紙)
- ・ 2日、閣議において、ベナン産の黄色、オレンジ色、赤色パイナップルの欧州への輸出が解禁された。政府は、2016年12月15日にエチレン系化学物質の基準に問題があるとして、欧州へ該当するパイナップルの輸出を自主的に中断していた。(10日、La Nation 紙)

紙)

- ・ 3日, 計画・開発省管轄組織は, ベナンタクシー計画の一環で, 先月実験的に導入されたベナンタクシー50台に加え, 新たに250人の運転手に対して研修を行った。(4日, La Nation 紙)
- ・ 4日, 在ベナン・オランダ大使館は, 現在ベナン全77コミューンのうち49で展開している「公共政策への市民の参加プログラム (PartiCiP)」について, NGO の ALCRER 及び Social Watch Benin と協定を交わした。PartiCiP2はベナンでの公共政策で会計の開示, 透明性や市民参加の改善を目的としており, 62コミューンに拡大される。(9日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 8日, ボヌ市において, 60キロワットの太陽光発電施設を備えたアグロビジネスセンターの開所式が行われた。日本政府, UNDP 及びベナン政府の協力関係によるもので, 19か月の工事を経てアデイド地区に建設された。式には, ベナン政府より, ビオ・チャネ (M. Abdoulaye Bio TCHANE) 計画・開発担当大臣, クダンデ (M. Delphine Oloronto KOUZANDE) 農業・畜産・漁業大臣が参加した。ビオ・チャネ大臣は, 本件を通じ「政府行動計画 (PAG)」が掲げる課題の達成が現実のものとなっている旨強調した。小西駐ベナン日本国大使は, 国民の半分を占める女性の能力向上及び自立はベナンにとって喫緊の課題である旨述べた。(9日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 9日, JICA が実施する「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABE イニシアティブ)」第四バッチの壮行会が行われた。2人のベナン人学生が2017-18年度選出され, 彼らはこれから3年間, 日本の大学院での研究と企業での研修をすることになる。当プログラムでは, アフリカ54か国で計250人が選抜された。(10日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 2017年第4四半期の国際収支統計によると, 2015年のベナンの海外への綿花輸出の総額は, 161.61億 FCFA にのぼり, その内中国への輸出が78.8%を占めることが分かった。(10日, L' économiste 紙)
- ・ 情報技術の発展と人材育成を目的として8月に設立したアドリアン・ウンベジ財団に対し, 中国は複数のコンピューター機器と中国留学の奨学金を提供することを発表した。(17日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 25日~28日の間, コトヌにおいて, 第9回西アフリカ中国物産展が開催された。家電・電化製品, コンピューター製品, 電子機械などの中国製品を買うことができ, 西アフリカだけでなく, コンゴやガボンといった中央アフリカ, また東アフリカの経済界の人間も参加する。同イベントはベナン最大の国際物産展である。(21日, L' économiste 紙)
- ・ 26日, 中国文化センターにおいて, 2017-18年度中国国費留学生23人のベナン人に対し, 留学許可証と航空券の授与式を行った。同授与式は在ベナン中国大使館が主催し, 23人の内訳は, 12人は学士課程, 8人は修士課程, 2人は博士課程, 1人は研修生となっている。(29日, La Nouvelle Tribune 紙)

【文化】

- ・ 3日, 8月1日のベナン独立記念式典に合わせて, ベナン国際演劇祭の青の会場において, 中国雑伎団が公演を行った。舞踊, 曲芸, 音楽演奏など多彩な演目が披露された。(7日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 19日, 中国文化センターにおいて, 中国現代絵画展の開会セレモニーが行われた。8月19日~9月9日の間, 著名な中国現代アーティストの作品約30展が展示される。ソガン (M. Richard SOGAN) 観光・文化省事務次官は, 美と芸術分野において, ベナンと中国の関係強化がなされると述べた。(21日, La Nation 紙)